

ジェネリック医薬品（後発医薬品）ご利用のお願い

～お薬代から医療費削減へ～



日頃より当健康保険組合の事業運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、医療費削減を目的に、お薬代の削減が見込まれます方を対象にお知らせいたします。

ジェネリック医薬品（後発医薬品）をご利用により、ご自身のお薬代と、健康保険組合の医療費の削減にもなり、皆様がお支払いしております保険料の増額を抑えることにもつながります。

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、先に開発され特許期間が切れた先発医薬品を、同じ有効成分で配合して製造され、価格が2～8割安くなっております。

この機会に、ジェネリック医薬品の切替をご検討いただけますようお願いいたします。

◆自己負担の軽減金額（別紙同封）◆

同封の「ジェネリック医薬品のお知らせ」は、ジェネリック医薬品へ切替可能なお薬と、切替た場合の、**最大の軽減金額**を示しております。

大塚商会健康保険組合
〒102-0073
東京都千代田区九段北1-11-11
第2フナトビル6階

ジェネリック医薬品のお知らせ
111-1111
〇〇県〇〇市〇〇〇1-2-3

健保 太郎 様方
健保 一郎 様

見本

ジェネリック医薬品へ切り替えた場合
最大で
1,680 円
安くなります。

このお知らせを医師または薬剤師にお見せください
（このお知らせは厚生労働省より示された「健康保険組合事業運営指針」に従い発送しております）

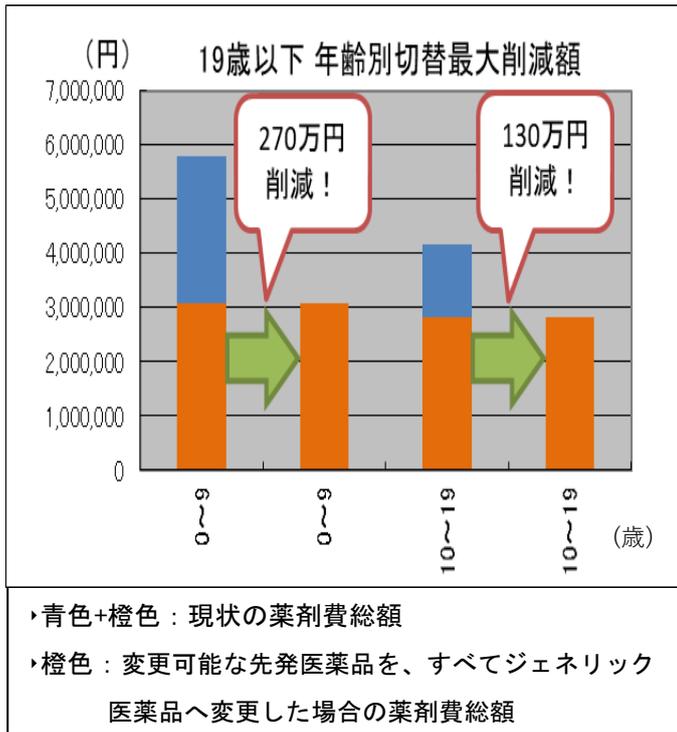
◆お子様の薬剤費削減のお願い◆

ジェネリック医薬品へ切替効果が高い年代は0～19歳のお子様で、人数と最大削減額ともに、当健保組合員全体の約半分を占めております。

右の図は、19歳以下の1か月分の薬剤費総額を、現状の総額とジェネリック医薬品へ切替た場合の総額を、0～9歳と10～19歳に分けて示しました。0～9歳ではジェネリック医薬品の切替削減額が10～19歳より2倍以上も高く、1か月で270万円、年間の単純計算では、3240万円も削減になります。

医師や薬剤師にご相談のうえ、ジェネリック医薬品へ切替をご検討いただけますようお願いいたします。

1ヶ月分の薬剤費総額と切替最大削減額



【お問い合わせ】

大塚商会健康保険組合

03-3234-3503（平日9時～17時）

担当：〇〇